

事業所における自己評価総括表

事業所名	LITALICOジュニア大船教室 児童発達支援
事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日（水）
自己評価総括の担当者	林、遠藤、森

	実施期間	有効回答数(回答者数)	有効回答数(対象者数)
保護者評価	2025年12月19日(金) - 2026年1月29日(木)	59	63
従業員評価	2025年12月19日(金) - 2026年1月29日(木)	10	10

各評価を受けて事業所内で分析した強みと弱み

事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること
<ul style="list-style-type: none"> ・お子さまが楽しく通っていただけるよう、支援の内容やプランニング等の工夫を行っている。 ・保護者の方が相談しやすいよう、フィードバックの時間を都度設けたり、相談支援を別室で実施するなど工夫を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数人数の指導の際は、同室に複数の保護者がいる環境の中でフィードバックを行ったり、モニターが付いていたりして、他の方のフィードバックが聞こえてしまうことがある。 ・保護者同士の交流の場（座談会等）を増やしてほしいという意見がある。

過去の取り組みや課題の振り返り

工夫していることや意識的に行っている取組等	事業所として考えている課題の要因等
<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼や終礼などでお子さまの情報(好き・嫌い・得意・苦手)を職員間で共有し、お子さまが楽しめる支援内容を毎回考えて実践している。 ・指導とは別にご家庭や園などの困りや就学に向けて相談支援を積極的に実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数指導ではお子さまの安全管理を保護者さまにお願いしていることもあり、同室でフィードバックを行う場面がある。 ・モニターの管理についてはスイッチが指導室から離れた場所にあるため、指導前後で電源を付ける・消すことを実施できていない。 ・座談会については保護者の方の都合やお子さまの様子などをふまえて調整を進めているため、準備に時間がかかる。

さらなる充実と改善への取り組み

さらに充実を図るための取組等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、お子さまの情報については指導を担当するスタッフが準備の際に必ず確認することができるような体制を整えていく。 ・引き続き、個別の相談支援の機会は必要性に応じて確保していく。また、座談会の開催など、保護者同士が交流できる機会を作っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理については今後もご依頼する場面があるため、フィードバック時には席を離す、場合によっては別室で話す等の工夫を行う。 ・フィードバック中はモニターを回収する、モニターの電源を落とす等、他の方にフィードバックを聞かれないような環境を整える。 ・個別の相談についてはフィードバック時以外にも、相談支援の案内を行う等、保護者の方が話しやすいような場面を設定しお話をする。